

第62回 生活と環境全国大会 公開講座
「廃棄物処理における『循環』と『共生』」共催
第13回「廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会」プログラム

◆ 受付・開場 09:00

■ 開会の挨拶 09:30

主催者挨拶

南川 秀樹

(一財)日本環境衛生センター

理事長

開催地挨拶

佐藤 俊彦

(一社)福島県産業廃棄物協会

会長

【基調講演】 09:40～10:00

第五次環境基本計画を踏まえたこれからの廃棄物処理

工藤 喜史

環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課 課長補佐

【基調講演】 10:00～10:20

ふくしま復興のあゆみーふくしまの環境回復に向けてー

橋本 武士

福島県生活環境部 環境回復推進監

【事例研究発表】 10:45～11:50

再生可能エネルギー・ごみ処理関係

座長: ※藤原 周史 (一財)日本環境衛生センター 部長

1 【特別講演】 廃棄物エネルギーの利活用・低炭素化技術について
秩父 薫雅 (一社)日本環境衛生施設工業会 技術委員会副委員長

2 【特別講演】 ごみからのエネルギー回収と地域での利活用について
溝田 健一 (一財)日本環境衛生センター 企画・再生可能エネルギー事業課長

3 基幹改良事業と長期包括運営委託について
川緑 匠 (一財)日本環境衛生センター

4 ごみを出さない、燃やさない、埋め立てない～逗子市のゼロウェイストへの挑戦～
石井 義久 逗子市

◆ 昼休憩

12:05～13:45

【ランチセミナー】

<無料昼食付き>プラントメーカーの最新の処理技術発表(エントリー順)

【特別行事】

13:15～13:45

来賓挨拶

奥村 明雄 (一財)日本環境衛生センター 会長
一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会 会長感謝状贈呈式
一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会 年間論文賞表彰式

【事例研究発表】

14:00～15:15

処理施設維持管理・適正処理関係、災害廃棄物関係

座長: ※佐藤 幸世 (一財)日本環境衛生センター 理事

- 5 地域の防災拠点 今治市クリーンセンター
戸崎 正裕 今治市、(株)タクマ

- 6 福島県内における放射性汚染廃棄物の減容化処理等に係る技術支援業務について
秋月 祐司 (一財)日本環境衛生センター

東日本大震災により発生した大量の災害廃棄物の処理について、行政と民間企業が連携し、一日も早い復興という共通の目的をもって取り組んだ事例についてご紹介します。

- 7 放射性物質を含む下水道汚泥の焼却処理について
品川 和則長谷(株)あいづダストセンター

震災直後の4月に当社の最終処分場に搬入された下水道汚泥の溶融スラグから、高濃度の放射性物質が検出されたと一報が入る。すぐさま下水道汚泥と関連する産業廃棄物の受け入れを自主的に停止。「廃業」という言葉が脳裏をよぎる状況となった。

震災から7年。受け入れ再開に向けて当社が取り組んできた、地域との対話や放射能関係の自主測定結果等のデータを交え、放射性物質を含む下水道汚泥の焼却処理の「いま」を紹介する。

- 8 東日本大震災により発生した災害廃棄物処理の取組みについて
高田 友則 (株)クレハ環境

東日本大震災により発生した大量の災害廃棄物の処理について、行政と民間企業が連携し、一日も早い復興という共通の目的をもって取り組んだ事例についてご紹介します。

- 9 産業廃棄物処理技術を活かした震災復興への貢献
本多 亮 恵和興業(株)

東日本大震災により発生した震災廃棄物の状況と、復興の過程で弊社が取り組んだ震災廃棄物処理の概要及び廃棄物処理に活かされた弊社の処理技術についてのご紹介

休憩

15:20～16:35

【事例研究発表】

15:20～16:35

処理施設維持管理・適正処理関係、災害廃棄物関係

座長：※石黒 智彦 (一社)廃棄物処理施設技術管理協会 専務理事

-
- 10 汚泥再生処理センターにおける可溶化汚泥からのリン回収
松下 知広 日立造船(株)

-
- 11 し尿処理施設の維持管理に関する動向
山口 泰典 (一財)日本環境衛生センター

-
- 12 建設廃棄物に含まれる土砂を再利用した盛土材「NS-10」
熊谷 豊 石坂産業(株)

「NS-10」は、今まで廃棄物として最終埋立て処分されていた混じり土を再生資源として有効活用を図るものです。建設廃棄物に含まれる混じり土を分別・分級し取り出した土(精選土)に重金属の不溶化剤及び固化材を添加して造粒・固化させ、自然由来の砂質土と同等品の盛土材を生産します。これは、道路盛土(路体・路床)等の盛土材や擁壁背面、埋設管周囲の埋戻し材に用いることができます。

-
- 13 Co-Energyと温度応力を考慮したキャッピング工法に関する力学特性の考察
遠藤 清亮 神奈川県県土整備局

跡地整備をするうえで埋立地キャッピング部の局所沈下による引込現象、気温変動や埋立地の形状変化部の応力変形等の影響から、キャッピング部の耐久性を有することが必要不可欠となっている。そこで、キャッピング部の局所沈下に対する力学特性を把握するため、Co-Energyモデルと現場模型実験により温度変化等を想定して、応力安定度を検討するものとした。また、二次元FEM解析により変形挙動を検証して耐久性を評価することにした。

-
- 14 一般廃棄物新最終処分場の用地選定経過について
長井 広寿 福島市 環境部

■ 閉会の挨拶

16:35

柳井 薫

(一社)廃棄物処理施設技術管理協会 会長